

学校・保護者・地域をつなぐ...

うてよひびけよ 鼓中通信

第10号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して

令和7年9月3日

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

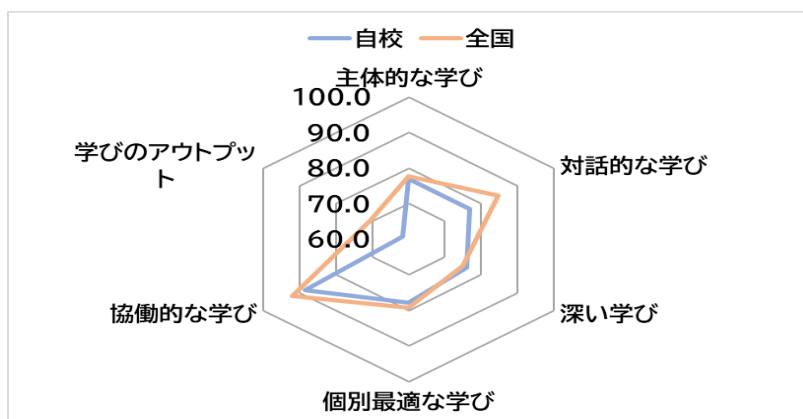
全国学力学習状況調査の結果分析について

今年度4月に行われた3年生の全国学力学習調査の結果についてお伝えします。

学力学習状況調査は、毎年、小学校6年生・中学校3年生に行われますが、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、学校の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目標に行われています。ただし、1回のテストであることから、教育課題のすべてがわかることではなく、傾向として参考としています。

また、生徒質問紙においては、生徒の実態がわかる内容となっています。学力だけでは測れない非認知能力の傾向を見ることができます。学力とある程度の相関関係がありますので、こちらも参考にいただけるとよいかなと思います。生徒や保護者の皆さんには、自分の結果とともに、本校の強みと弱みを確認いただき、今後の学習に役立てていただければと思います。

全国・県との比較	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
鈴鹿市鼓ヶ浦中学校	7.5 / 14	54 (鈴鹿市 53)	6.4 / 15	43 (鈴鹿市 45)
三重県(公立)	7.5 / 14	53	7.1 / 15	47
全国(公立)	7.6 / 14	54.3	7.2 / 15	48.3



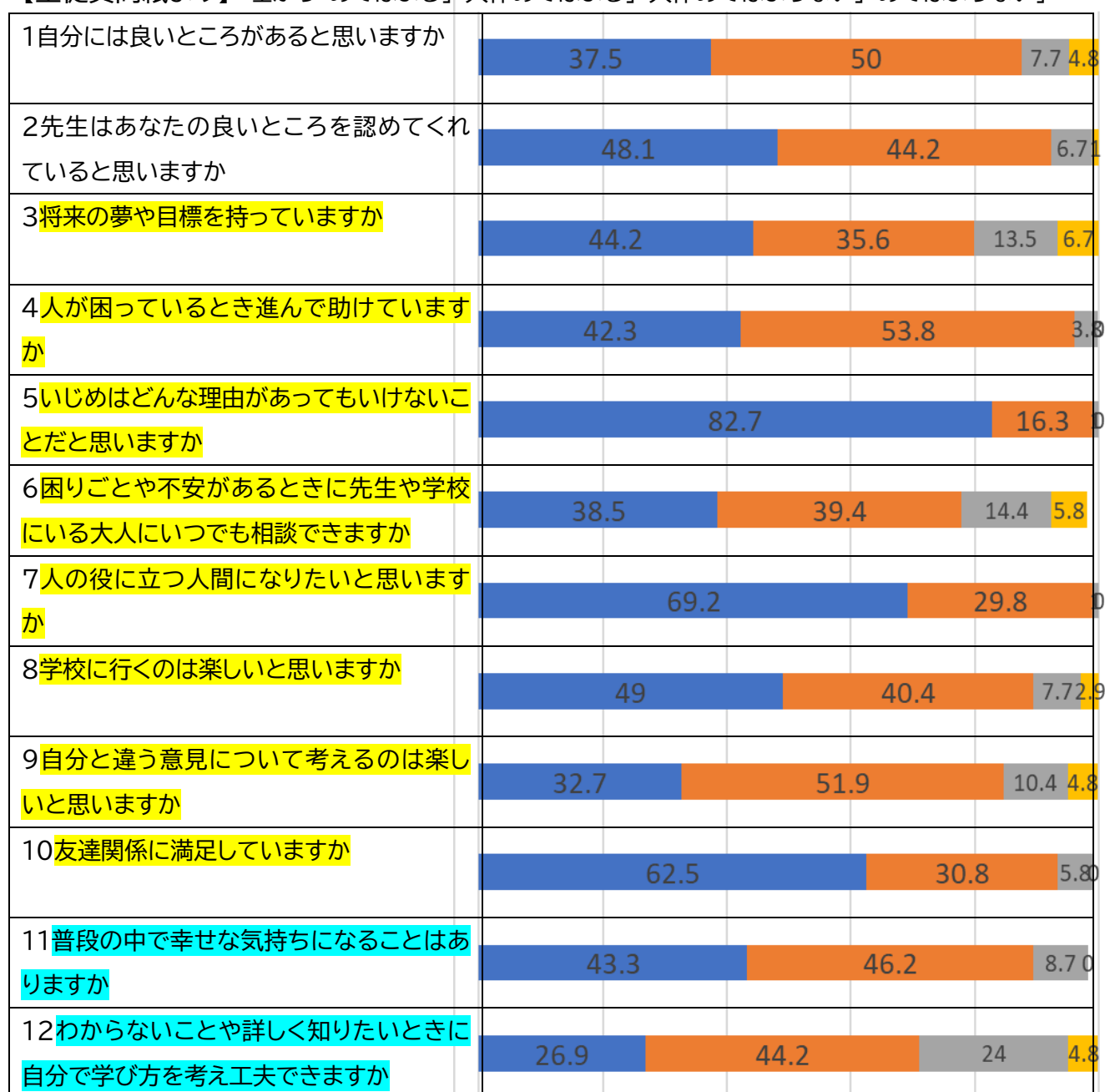
【○成果と▲課題について】

○選択問題ではすべての分野で無回答率が0%であり、やりとげようとする意欲がある。▲問題文を読んでいるようで読み飛ばしている場合や、条件を見落としている場合が多い。また、デジタルツールが身近になるほど、自分の手で書くことへの困難や文章に適した言葉遣いかどうかの判断に困難が生じる傾向が見うけられる。(左図小さい方の図形が本校の結果)

【今後の方策について】

「読む力」をつけるために、文章の言葉を深く理解して自分に落とし込めるよう、授業の中での音読、語句の意味をおさえる学習を丁寧に行うようにする。引き続き、1, 2年生は「よむ・YOMU ワークシート」(週に1回朝の会時におこなう読み取り学習)に取り組むが、記事に興味を持たせる工夫や、解説を丁寧におこなう。「書く力」をつけるために、文章を書く機会を増やし、書くことに慣れさせる。(学校行事等の振り返りや感想文を書く等)また、学力の向上に向けて、さらに学校と家庭の連携を図っていく。

【生徒質問紙より】 左から「あてはまる」「大体あてはまる」「大体あてはまらない」「あてはまらない」



上記のアンケートは、生徒質問紙の中の抜粋です。うち、3～10の項目は全国平均の数値より高く、11、12は低くなっていることから、以下のような傾向が考えられます。

【考察】

本校3年生は、非認知能力の「社会性」と「自己肯定感」が高く、周囲との良い関係を作ろうと努力できる生徒が多いと思われる。夢を持ち、学んだことを次に生かしたいと思う数値は高く、将来の自分や誰かのために自分を役立てたいという思いが大きい。これは、3年間の学びあい活動を積み上げてきた一つの成果と考えられる。一方で、「自制心」「やり抜く力」が低い傾向にあり、目の前の課題に対して自分で改善しようという意欲、方法や手段を見つけ、工夫して行動しようとする力が弱いことがうかがえる。対話をして解決したり、自分の考えや思いをうまく伝えたりすることが苦手である。また、幸福感を感じる事が少ない状態は、心身の成長にともなう自分自身のコンプレックスや、人間関係の複雑化による悩み、成績や進路に対する悩みなどが考えられる。

であるならば、学校としてはいっそう安心して相談できる関係づくりをし、個々の見取りを丁寧に行うことが大切である。また、授業や学校行事の取組のなかで、学んだことや経験が将来や実生活に結び付けて考えられるようになったり、人との対話や協働作業を通して自分たちで考え解決していく充実感を味わったりする経験を通して、主体的に学び続けられる力の土台がつけられるよう指導していきたいと考える。

